

ESOMAR 各国協会連絡会議

2018年11月26日

議事録

参加者： Patrick Coucke (CUBE), Philippe Guilbert (Syntec), Leonie Vorster (SAMRA), Kim Smouter- Umans (ESOMAR), Dominique Servant (Chair), Jan Willem Knibbe (ESOMAR)
不参加： Patricio Pagani (SAIMO), Alessandra Frisso (ASBPM), Pravin Shekar (MRSI), John Smurthwaite (APAC Ambassador)

1) 連絡会議の目的： 各国協会連絡会議と協力してベルリン大会での決定事項のフォローアップと履行を保证するための情報共有

連絡会議は約5年間、成功を収めてきました。ESOMARは次のステップとして連絡会議をLACやPSCに並ぶ正式な委員会にしたいと考えています。より正式なステータスになるということは、ESOMAR理事会がより業務に関わり、その議題に対して指針を与えることとなります。

ワークフローに関しては、各トピックに対して連絡会議メンバーとESOMARチームが1名ずつチームを組み、そのトピックをリードすることに決定しました。この新しい枠組みは、各協会のサービスにプロジェクトをより円滑に進められる権限を与える事になります。多くのプロジェクトに現地の、または地域的な側面があるので、連絡会議が各地域のリーダーを巻き込むこと、そして両チームを協調させることが重要だという見解を示しました。

次回の電話会議では、連絡会議メンバーに担当トピックを割り当てます。議論を円滑に進めるためにも、事前に各人が希望するトピックを伺います。

DominiqueがESOMAR事務局に伺い、戦略とワークプランを立てて行きます。

2) 2019年の優先事項及び各トピックに関する連絡会議メンバーの合意

- リサーチ・ゴット・タレント グローバル大会
- 自主規制施行能力の構築 (Serene、懲戒手順など)
- MR と市場調査業界に関するグローバルプレゼンテーション (大学、政府、一般向け)
- ESOMAR ウェブサイトへの各国情報ページの設置と”Doing Research in... (～で調査を実施中) ”レポート
- 綱領及びガイドラインの翻訳

3) 2019年の電話会議スケジュールの提案

来年、月例会は月曜日に開催する事になりました。提案された日程をまとめた資料をこの議事録と一緒に送ります。

4) ESOMAR/ICC 綱領の採択/承認状況、及びパートナーシップ契約の締結に関するアップデート（必要であれば）

新しい情報はありません。

5) その他の議題

- 契約上の問題は解決しましたが、SERENE に関する進展はありません
- 新しい ESOMAR 理事会は 12 月の第 1 週に会議を行い、Kim は各国協会に関連する業務を提示します。第一印象では、理事会は協会に関する業務に興味を持ち、取り組んでいるようです。